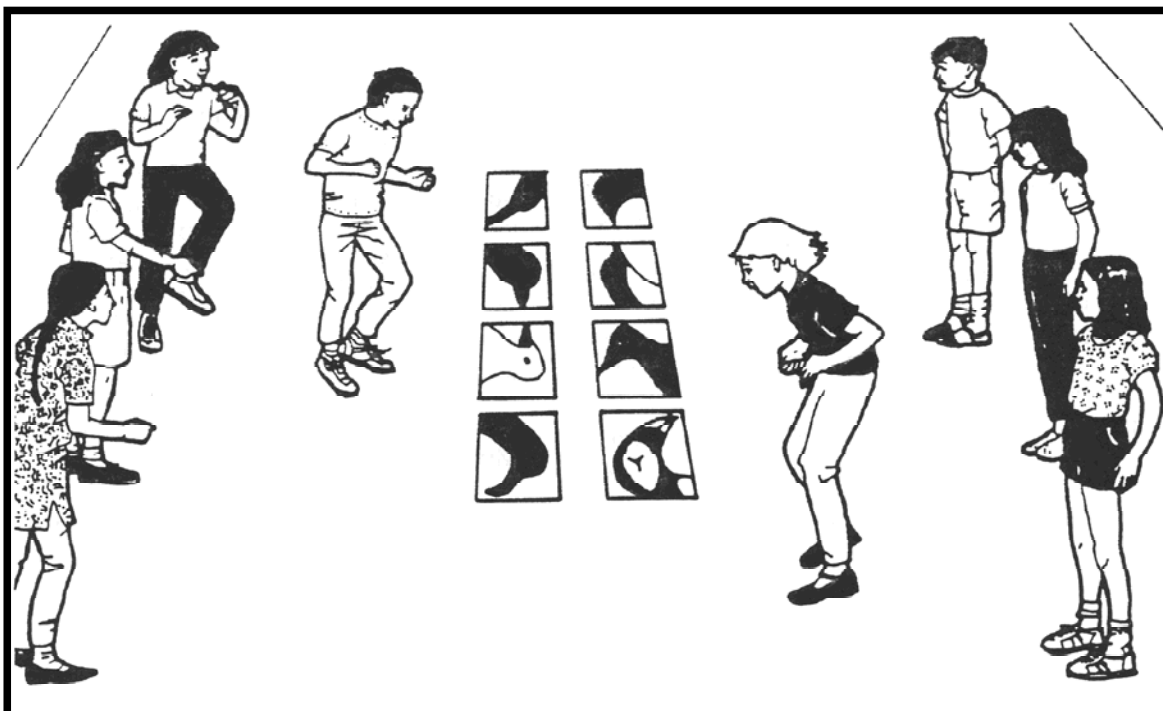


海鳥識別ラインゲーム



目的

海鳥を認識する技術や海鳥に関する知識を高めていく。

予備知識

海鳥は陸上で見られるどの鳥とも似ていません。彼らの^{くちばし}嘴も、からだも、配色も、三つの世界での暮らしに適応しています。すなわち、水中、空中、そして陸地です。数種類の海鳥は空中にいるのと同じように水の中で泳ぐことができます。それはつまり、彼らの身体は形においては流線型でなくてはならず、さらに冷たい海で体温を保つために、小さくまとまっていなくてはならないということです。ぬるぬる滑る食べ物を水の中で捕まえることができなくてはなりませんし、また夏には、お腹をすかせた雛たちのところへ何マイルも飛ぶ間、ずっとその食べ物を持っていることができなくてはなりません。

これら全ての条件に対する適応の結果が、海鳥の体に反映されています。海鳥のことを勉強して、海鳥の絵に色を塗ることによって、生徒は、様々な海鳥を識別することを学ぶだけでなく、適応性についても理解していくでしょう。彼らはこれらの絵を、後で説明するラインゲームや、彼らが海鳥について書く文章の挿し絵に使うことができます。

このアクティビティーは、練習問題として、または生徒たちが海鳥のことをよく知ってから、さらに深く学ぶために使うと、最も効果を発揮します。冬期間に観察する方は、次のことにご注意ください。海鳥を識別するための特徴のうちのいくつか（ツノメドリのカラフルなオウムのようなくちばしや、パンク調の房毛）は、つがいとなる鳥を惹き付けるために、夏の間のみ現れるものです。赤い小冊子「アラスカ海鳥ガイド」の中の分布図を参照して、自分の近辺にどんな海鳥が住んでいそうか調べてみましょう。

材料

うしろについている海鳥の塗り絵をコピーして、生徒たちに、ひとり1セットずつ配ります。

手順

1. 生徒に、凡例に書いてある通りの色を使って、海鳥の塗り絵を塗らせませす。それぞれの鳥の特徴的な部分を指摘して、それについて話します。色を塗り終えたら、コロニーを視察する時にフィールドガイドとして使用するために、まとめて小冊子にさせませす。あるいはそのうちの数枚は、生徒が海鳥について書くときに挿絵として使わせてもいいでしょう。

2. 識別ラインゲームをするには、海鳥のそれぞれの種類につき、絵が2枚ずつ必要です。まず3～4つくらいの一般的な種類から始め、生徒の知識が増えてきたら、徐々に種類を増やしていくといいでしょう。生徒が塗った塗り絵を使うか、それとも自分で作ってください。その際に、絵に鳥の名前を書かないようにしてください。ラミネート加工するのもいいかもしれません。

3. 2つの同条件のチームを作り、互いに向かい合わせになり、15フィート離れて一列に並べさせます。一種類につき2枚の絵を、2チーム間の地面の上に一列に並べます。全員が絵を見ることが出来るようにしてください。それぞれのチームの選手に番号をつけて、どちらのチームにも1番の選手、2番の選手・・・がいるようにします。同じ番号の選手同士が向かい合うようにします。

4. チームの準備ができたら、チームとチームの間に置かれたカードに描かれている鳥の名前を大声で叫び、それから番号を呼びます（次が誰の番か分からないように、わざと順番通りでない番号を呼ぶ）。例えば、「エトピリカ、3番」というように。番号は鳥の名前のあとに言ってください。そうすれば、番号が呼ばれた人だけでなく、全員で正しい答を探すことになりやすくなります。

5. 「3番」の選手たちは、自分の番号が聞こえたらすぐに、エトピリカの絵のカードを先に取り上げようと競争します。カードを取り上げたら、自分たちのチームに戻ります。チームは、正しい絵が選ばれていたなら、OKを出します。もし違っていたら、3番の選手は戻って、別のカードを持ってくることができます。うまくいった選手のチームには点数が加算されます。一種類につき2枚のカードがあるので、一回に両方のチームが得点することも可能です。

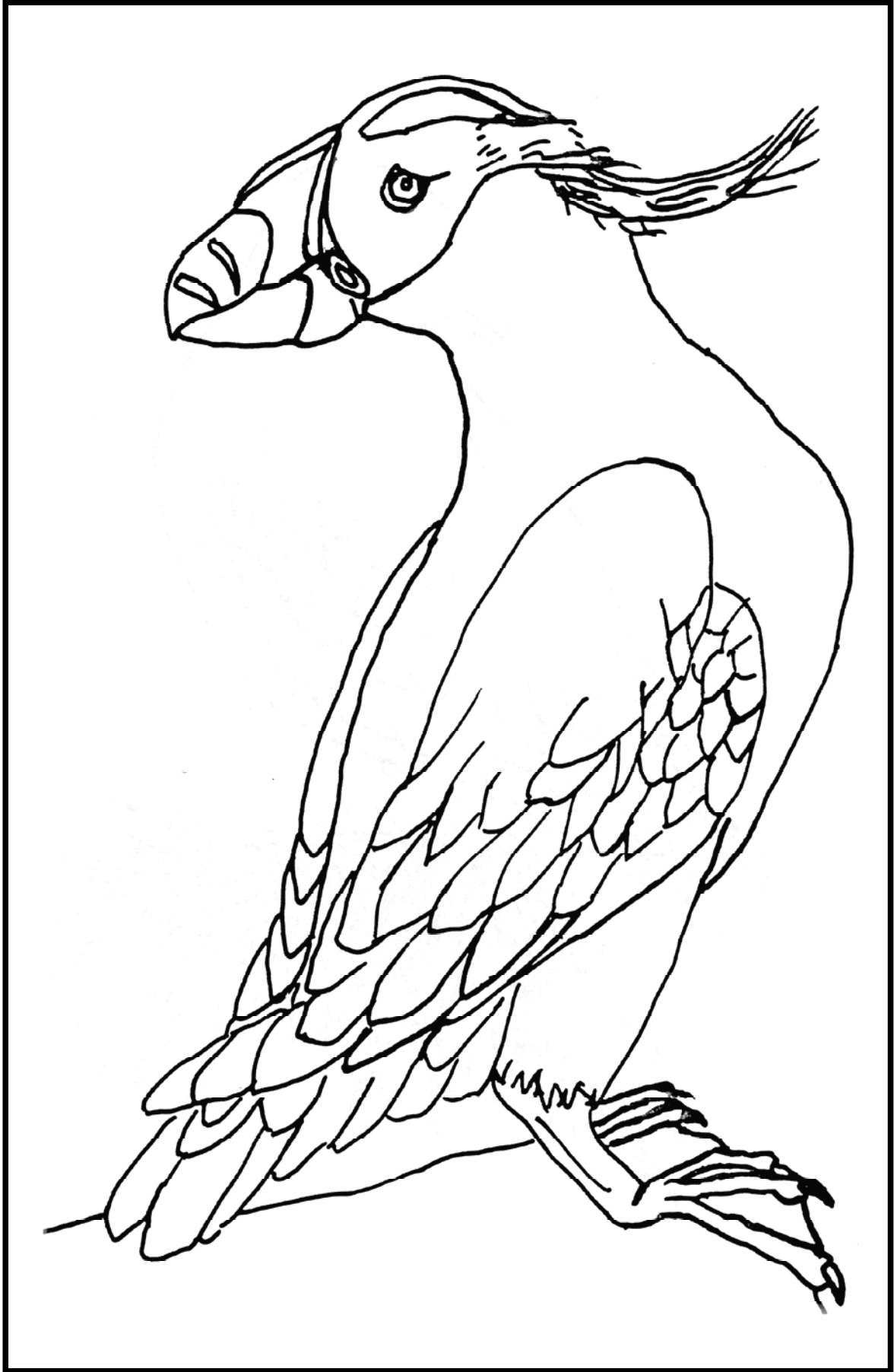
6. 鳥に関する知識は、次のように言って復習することもできます。「とても大きなオレンジ色のくちばしを持ち、頭に黄色っぽい房毛があり、巣穴を掘る」(エトピリカ)。「この鳥の世界中の生息数の97パーセントは、プリビロフ諸島にあるセント・ジョージ島に巣を作っている」(アカアシミツユビカモメ)。「この海鳥はとても高い声で鳴き、口の中が真っ赤である」(ウミバト)。「この海鳥はぎっしりとひしめき合って、断崖の岩棚に群棲し、巣を作らない」(ウミガラス)。「アラスカのいくつかの地域では‘海のオウム’と呼ばれている」(ツノメドリ)。「この海鳥は動物プランクトンを常食とするが、それは羽を使って水中を泳いで集める」(ウミオウム)。「この海鳥は足を使って水中を泳いで食べ物を追う。羽毛は防水性がなく羽を広げて乾かさなくてはならない」(ヒメウ)。あるいは「この鳥はもっとも長い距離を渡る鳥として知られている。冬には南極から11,000マイルも旅をする」(キョクアジサシ)。

鳥の名前は、地元の呼び名を使用してもかまいません。46ページと47ページにある、海鳥の地元の呼び名表を参照して下さい。

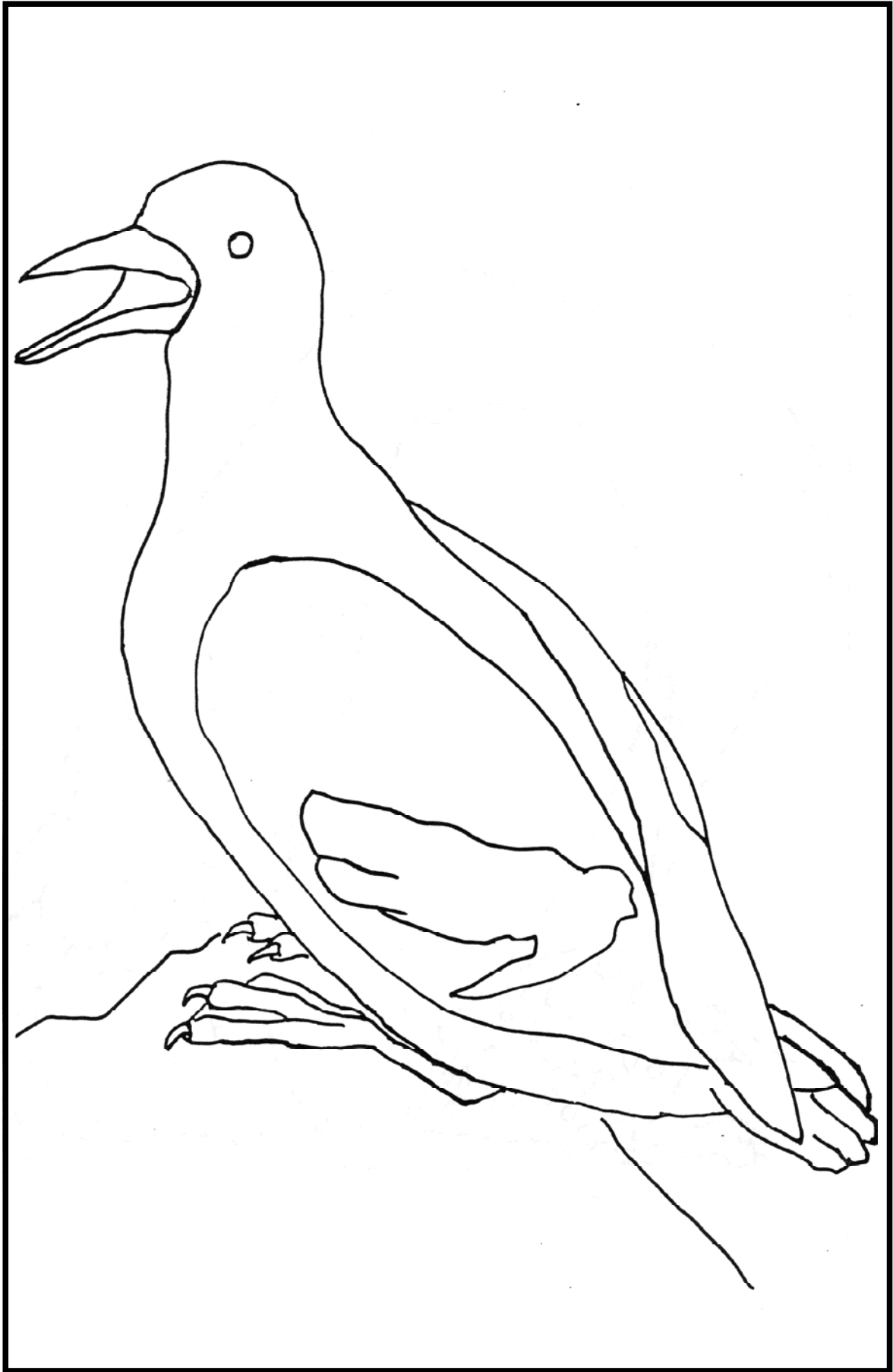
応用

もし可能でしたら、海鳥のコロニーに行ってみてください。行くときは、双眼鏡と識別本を持っていきましょう。そしてこのアクティビティーに含まれている海鳥チェックリストを使って、観察結果をスケッチしたり、記録をつけたりしてください。海鳥チェックリストは、生徒達が鳥を観察し、識別できる特徴を記録する時の助けになるように作られていて、鳥の大きさ、くちばしの形、羽の形、尾の形、営巣の場所、配色、採食方法などが書かれています。

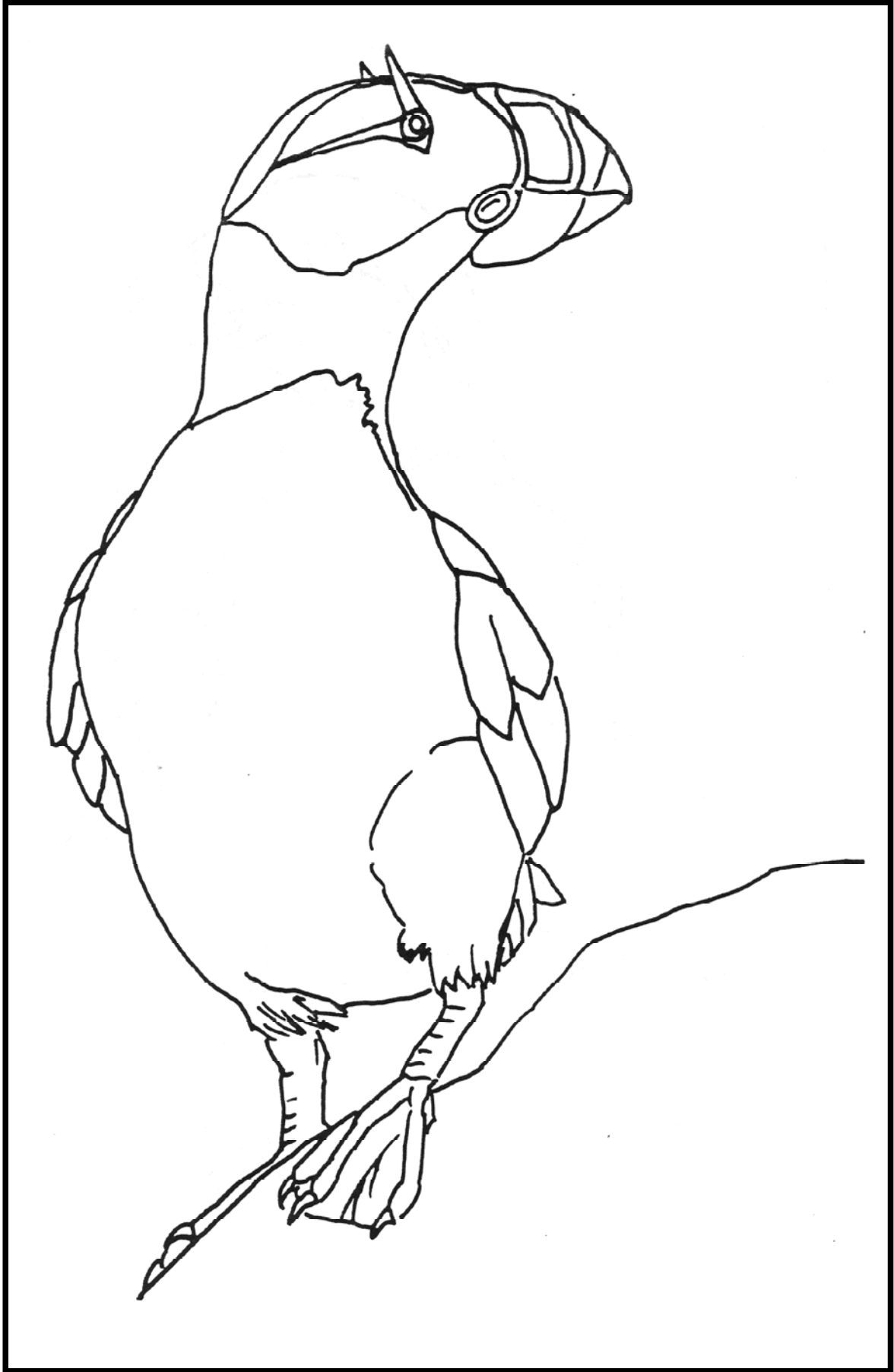
※翻案：米国魚類・野生生物局、「Teach About Geese」より



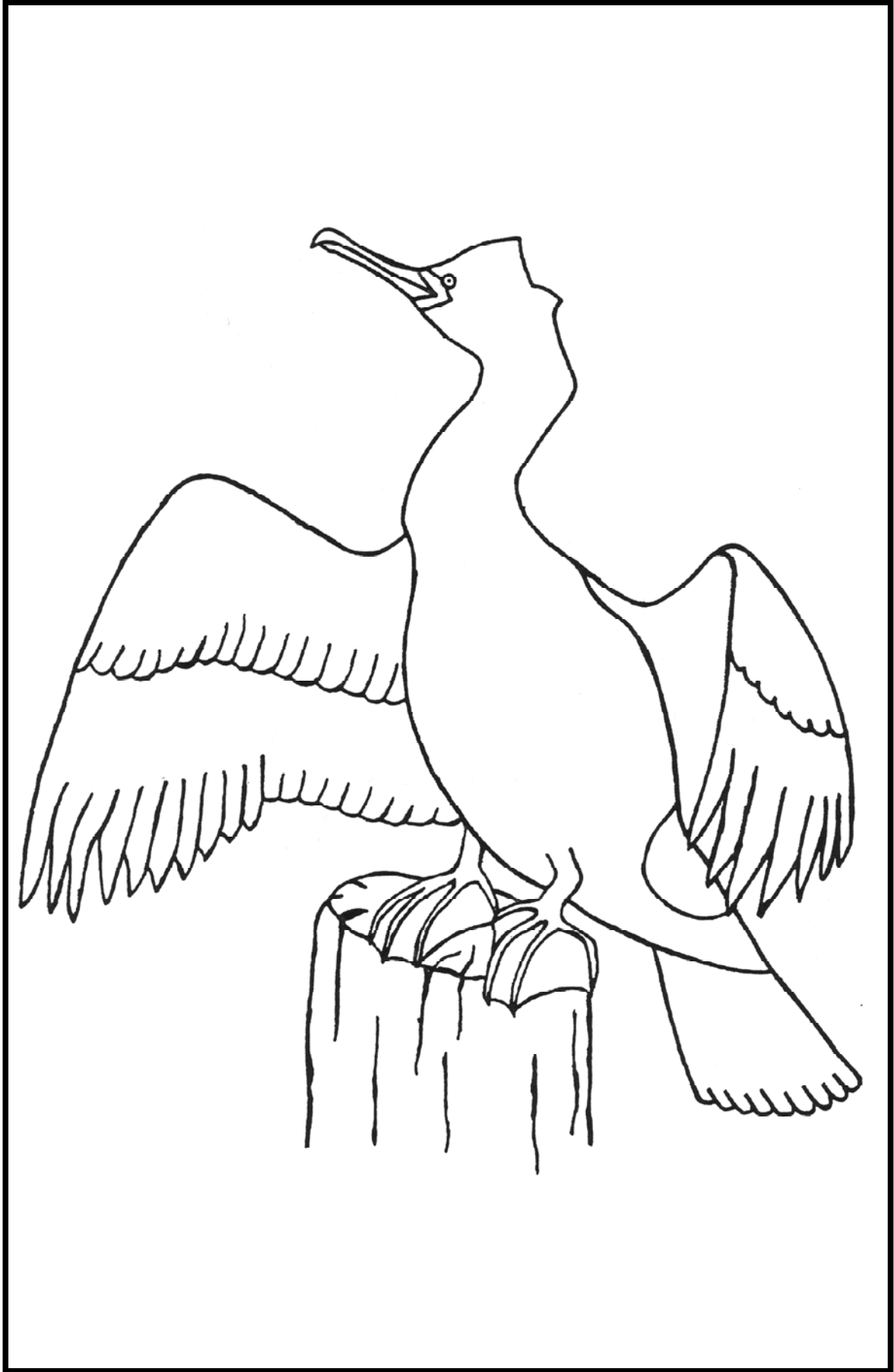


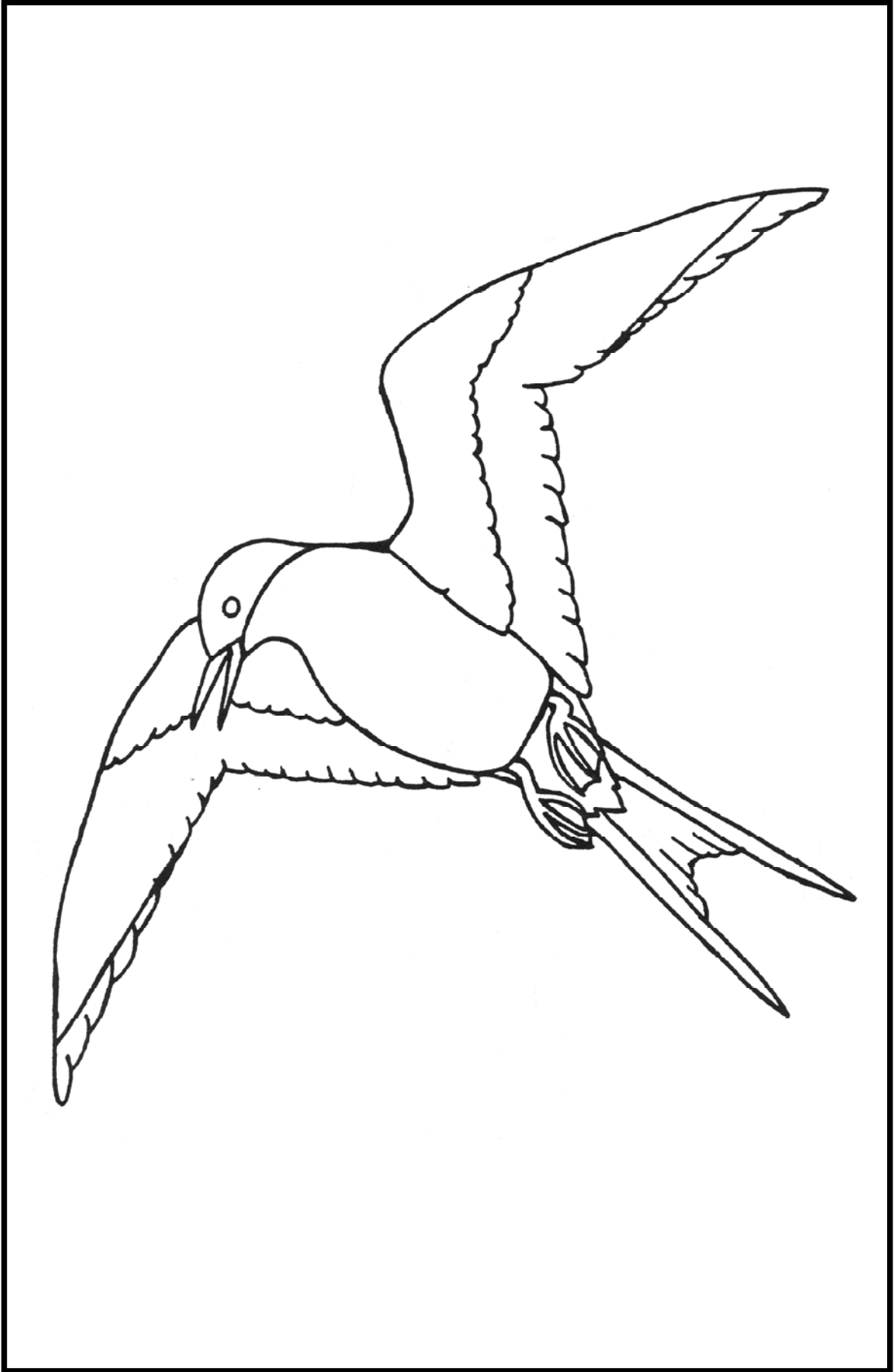






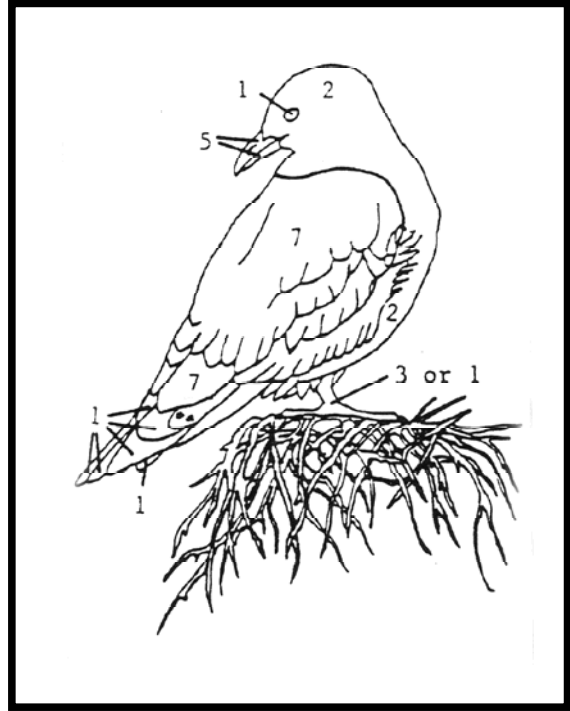




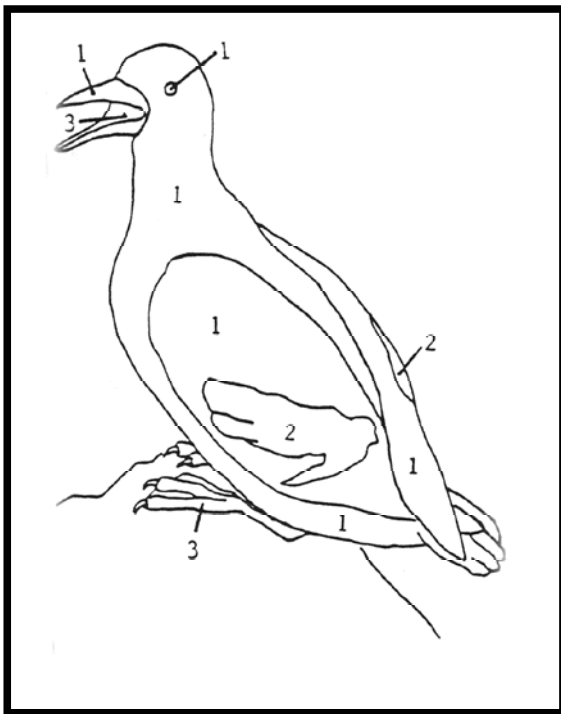




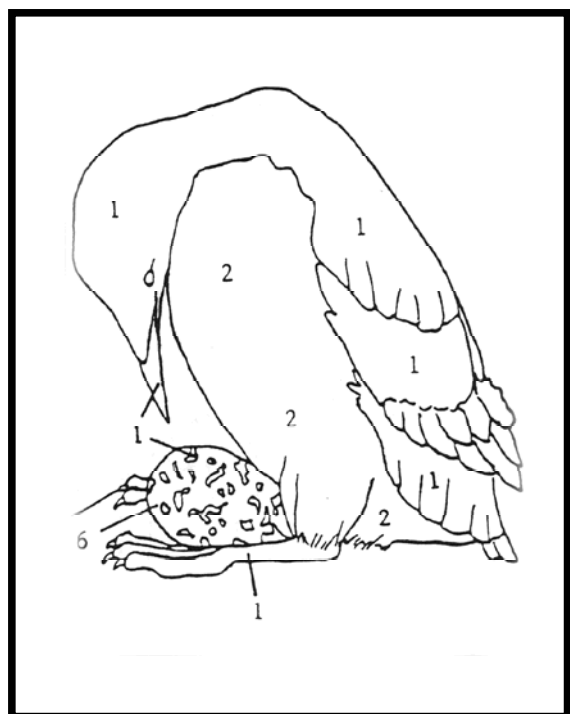
エトピリカ



アカアシミツユビカモメ
または ミツユビカモメ

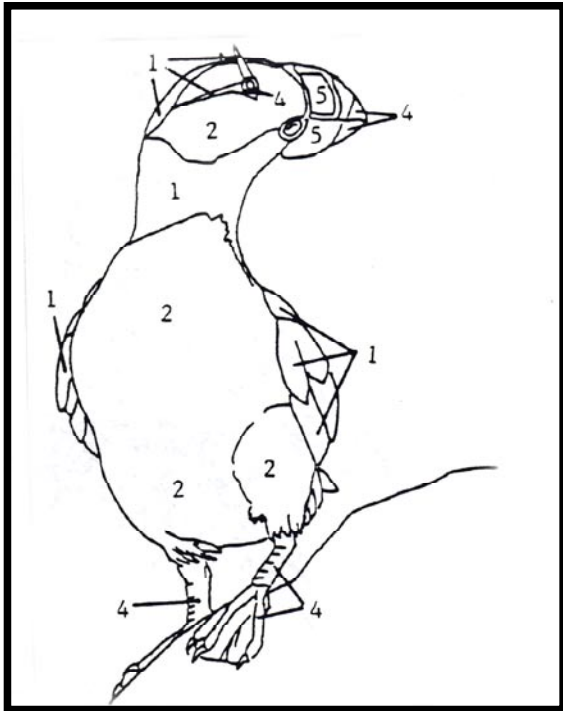


ウミバト

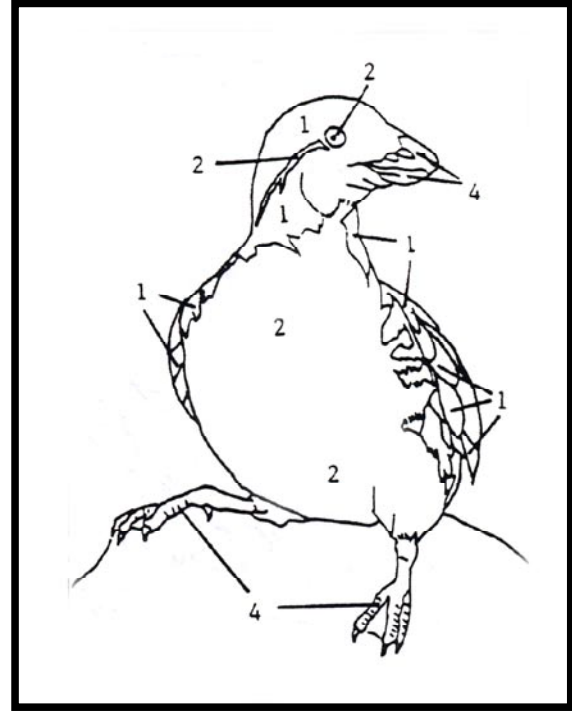


ウミガラス

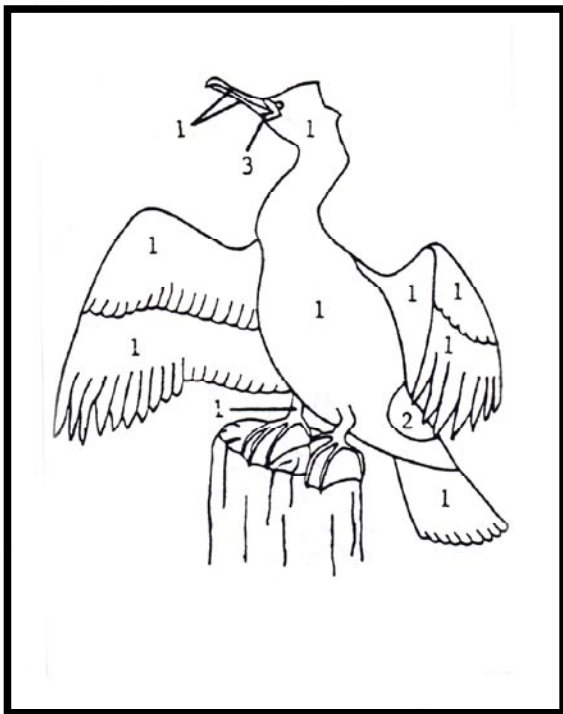
- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| 1 = 黒 | 3 = 赤 | 5 = 黄色 | 7 = 灰色 |
| 2 = 白 | 4 = オレンジ | 6 = 青/緑 | |



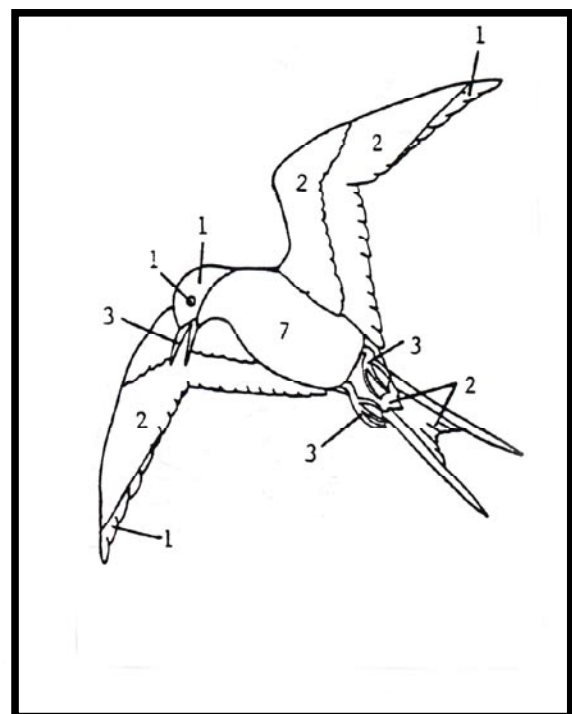
ツノメドリ



ウミオウム



ヒメウ



キョクアジサシ



- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| 1 = 黒 | 3 = 赤 | 5 = 黄色 | 7 = 灰色 |
| 2 = 白 | 4 = オレンジ | 6 = 青/緑 | |



海鳥識別チェックリスト





鳥の大きさ	嘴の形	翼の形	尾の形	採食方法	営巣場所	鳥の名前

これらの例を参考に上の空欄に嘴の形、翼の形、尾の形について描くか記入してください。

嘴の形：
長い、とがった  短い、つまった 

長い、カギ状の  長い、チューブ形の鼻 

翼の形：
短い、丸形  長い、とがった 

翼の形：
丸形  フォーク形  角形  まんなかの羽が長い 

もしよかったら後のページに鳥の全体を描いてください。

これらの例を見ながら上の空欄に鳥の大きさ、採食方法、営巣場所のタイプを書いてください。

鳥の大きさ：
カモより小
カモサイズ
カモより大

採食方法：
空中から海表面へ潜る
海面に浮かんで採食
水中へ潜る
その他

営巣場所：
平坦な地面
穴または割れ目
崖の岩棚
つみかさなった岩
森林
その他